



### Section I – 基本情報

団体名	INSAN Iraqi Society for relief & development インサーン ・救援と開発のためのイラク人協会
担当者	Aari Jabari – General Director 代表・アリー・ジャバリ

### SectionII – 現地状況とインサーンの活動

#### 状況分析と対応：

テロリスト集団 ISIS による 6 月 10 日のニナワ県の占拠およびこれに対するイラク軍の作戦により、さらにはヤジーディー教徒およびキリスト教徒への大量虐殺により新たな避難民が発生し、イラクでは緊張が高まっている。避難民の数は、危険なまでに増えている。

INSAN の調査およびキルクーク難民・移民局の発表によれば、キルクークに滞在する避難民の数は、約 20 万人に達している（8 月 20 日現在）

豊富な石油資源に恵まれたキルクークは、イラク北部に位置し、バグダッドからは 295 k m の距離にある。キルクーク市は、歴史的にまた民族的に多様性を持つ街で、クルド人、アラブ人、アッシリア人、トルクメン人、アルメニア人などの民族が伝統的に平和的に共存してきた。一方で、民族の多様性に加えて、クルド自治区と接するその位置、さらにはいくつもの油田を持つことから、紛争の種となり、避難民を生むことにもなっている。

1980 年代のサダム・フセインの時代には、「アラブ化」政策がとられた。数万人のクルド人および他の非アラブ人がキルクーク市を追われ、代わりにイラク南部から政府支持派の貧しいアラブ人が移り住んだ。2003 年 4 月（訳注・イラク戦争直後）、政治状況の変化を背景に多くのクルド人および他の非アラブ人の家族がキルクーク市に戻り、かつて強制的に奪われた家や土地についての所有権を主張し始めた。その後イラクの他の地域と同様に、キルクークにも軍事作戦や戦闘地から逃れて数千人の国内避難民が流入した。避難民の民族は、アラブ人、クルド人、カルデア人、トルクメン人、アッシリア人など多岐にわたる。

キルクーク難民・移民局によると、2014 年 6 月 10 日以前のキルクーク県内の国内避難民は 12,000 世帯だったが、6 月 10 日以後の避難世帯は 2014 年 8 月半ばまでに 48,000 世帯にのぼり、総計 60,000 世帯となっている。県内の避難民の

80%以上が、キルクーク市内に滞在している。

インサーンの調査によれば、国内避難民に対する緊急支援が課題である。来る冬に備えて、食料および日用品の支援に差し迫ったニーズがある。

#### インサーンについて：

インサーン（正式名称：インサーン・救援と開発のためのイラク人協会）は、開発・人道支援・平和構築・紛争管理・ソーシャルアクション（アドボカシー活動：政策提言）の分野で活動する非政府・非営利・非宗教的な組織である。2004年11月にバグダッドで創設され、2005年2月に正式に設立された。

インサーンの設立メンバーたちは、1999年からよく知られた国際 NGO で共に働いており、2003年時点ではスペインの NGO である MPDL の現地スタッフとして働いていた。インサーンは、2004年に国際 NGO がイラク国外に退避した際に創立され、プロジェクト実施において MPDL による緊密な連携とアドバイスを受けながら、自立に向けて発展した。

インサーンは、アドボカシー（政策提言）、アウェアネス（啓発活動）、キャパシティビルディング（能力向上）などの活動を通して、女性や国内避難民など弱い立場にある人々の権利を保障し、守ることを目指している。インサーンはまた、キャパシティビルディングの機会や保健センターへの機材の提供など、保健分野でも活動している。

インサーンは、設立以来イラク全土の国内避難民コミュニティと密接に連携して活動している。支援は多岐にわたり、人権に関する啓発活動およびアドボカシー活動から、援助物資配布による緊急支援、収入向上機会の創設にまで及ぶ。インサーンはまた保健分野でも活動しており、国内避難民を主な患者とする病院にキャパシティビルディングの機会や資材・機材を提供している。

インサーンは、過去5年間コミュニティの生活向上のために参加型アプローチを基に活動してきた。キルクーク県内10か所の困窮した地区を対象に、参加型迅速評価（participatory rapid appraisal）によりコミュニティのニーズを調査し、調査を通じて180人の若者たちから成るボランティアグループを組織した。国内避難民の居住区で迅速評価を行う際や、緊急支援物資を分配する際にインサーンをサポートすることを想定している。

#### <インサーンの現在の活動>

- 1- Enhancing community participation in decision making processes in Kirkuk (mercy corps)

キルクークでの意思決定プロセスへのコミュニティの参加を高める活動（マーシーコーの支援による）

#### キルクークの治安状況：

キルクーク県は現在、テロリスト集団の攻撃、多民族の混住、その政治的戦略上重要な位置づけなどにより、非常に不安定な状況にある。キルクーク治安状況報告書によると、自動車爆弾の数は昨年と比べて減っているが、イラク警察およびクルド人部隊（ペシュメルガ）に対する攻撃は増えている。

しかし、キルクークに滞在する国内避難民の多くは、新しい土地での安全な生活を求めている。

また、クルド系政党による支配により民族間の緊張が高まっている。

国内避難民の定住を禁止する命令が採択されたが、実施には至っていない。

---